

三重県桑名市における 「地域の薬剤師会と連携した 服薬指導の取組」

～ 桑名市健康お薬訪問相談事業～

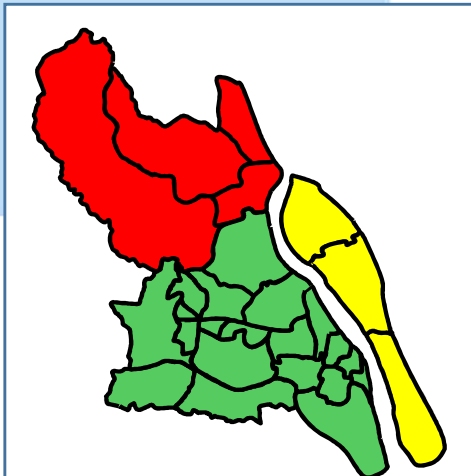
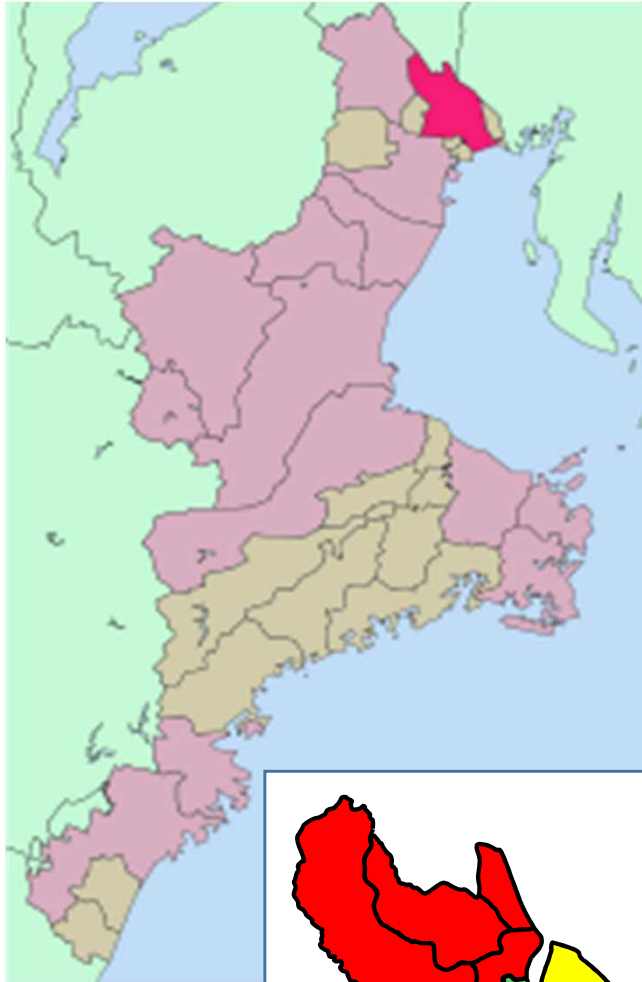
桑名市役所 保健福祉部 介護予防支援室

伊東 幸子



桑名市
イメージキャラクター
「ゆめはまちゃん」

「桑名市」の概要



平成16年12月に
旧桑名市・多度町・長島町が合併

総人口	142, 951人
面積	136. 68km ²
世帯数	58, 586世帯
65歳以上人口	36, 553人
75歳以上人口	17, 511人
高齢化率	25. 59%
要介護・要支援認定率	14. 09%
地域包括支援センター	6箇所(直営1、委託5) 基幹型1、 委託5(+ブランチ型1)

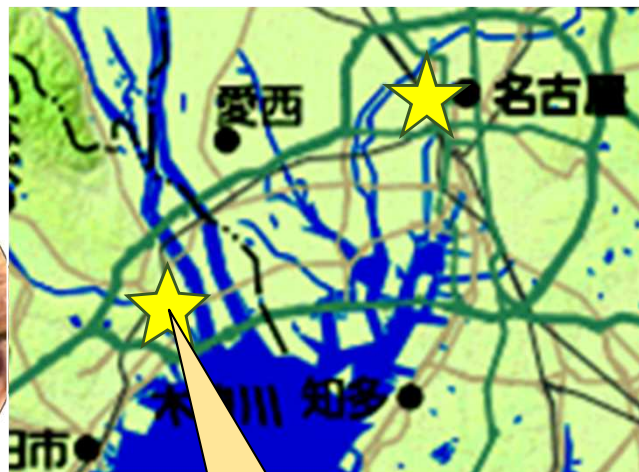
(平成30年3月末現在)

「桑名市」を紹介します①

旧東海道伊勢国一の鳥居
「七里の渡跡」



「その手は桑名の
焼き蛤」



桑 名

名古屋駅より、JR関西本線・近鉄名古屋線で約25分、
東名阪自動車道経由で約30分。
中部国際空港より、伊勢湾岸道経由で約1時間。

旧東海道42番目の
宿場町桑名の銘菓
「安永餅」



全国で3路線のみのナローゲージ
「北勢線」



お伊勢参らばお多度もかけよ、
お多度かけねば片参り
「多度大社」



人馬一体となって
絶壁を駆け上がる
「多度上げ馬神事」

鹿鳴館で有名な
ジョサイア・コンドルの設計による
山林王・ 諸戸家の邸宅「六華苑」



「なばなの里」



全国アミューズメントパーク
入場者数第3位
「ナガシマリゾート」



「くわな石取祭」が
ユネスコ無形文化遺産に登録。
鉦や太鼓を打ち鳴らし、「日本一やかましい祭り」
とされています(春日神社桜門前にて)

「桑名市」を紹介します②

蛤



細川酒造 株式会社

日本酒



株式会社 柿安本店

牛肉

桑名市の「ふるさと納税」

※画像は一例です他にもいろいろ取り揃えております♪



桑原鋳工 株式会社

株式会社 マルヨシ水産

ナガシマ
リゾート



長島観光開発 株式会社

はちみつ



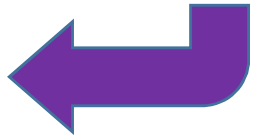
株式会社 舘養蜂場本店

鋳物

「桑名」市政の特徴



桑名ブランドロゴマーク



桑名ブランドキャッチフレーズ

他ではまねできない、桑名ならではのたくさんの“本物”を見つけ出し、磨き上げ、より素晴らしいものにしていく力を「本物力」と名付けました。
木曾三川が流れ込む桑名を桑名城の形状であった扇の要と見立てたイメージ等を桑名のイニシャルである「K」のマークで表現しました。

本物力こそ桑名力

○桑名市の将来像を実現するための7つのビジョン

- 1 中央集権型から全員参加型の市政に
- 2 命を守ることが最優先
- 3 こどもを3人育てられるまち
- 4 世界に向けて開かれたまち
- 5 地理的優位性を活かした元気なまち
- 6 桑名をまちごと「ブランド」に
- 7 納税者の視点で次の世代に責任ある財政に

- ・ 介護高齢課・・・管理・認定審査係：資格管理・保険料他
認定審査事務他

介護事業係：施設整備、事業所監査他

介護予防支援室・・・地域支援事業全般（基幹型包括、総合事業等）

- ・ 福祉総務課 生活支援体制整備事業
生活支援室

- ・ 障害福祉課

子ども未来局

- ・ 子ども未来課
- ・ 子育て支援課
子ども総合相談センター

- ・ 保健医療課 健康増進事業と一体的な介護予防事業の展開
在宅医療・介護連携推進事業

保険年金室

「桑名市地域包括ケア計画」の基本理念

高齢者の尊厳保持・自立支援

(介護保険法第1条)

セルフマネジメント(「養生」)

健康の保持増進

(介護保険法第4条第1項)

能力の維持向上

介護予防に資するサービスの提供

(介護保険法第2条第2項及び第5条第3項)

在宅生活の限界点を高めるサービスの提供

(介護保険法第2条第4項及び第5条第3項)

一般高齢者

要支援者

要介護者

在宅サービス

施設サービス

多様な資源を活用し、
共に支え合う一体的な
地域づくり

『介護予防・日常生活支援
総合事業』
『生活支援体制整備事業』



多職種協働による
ケアマネジメントの充実

『地域ケア会議』
『在宅医療・介護
連携推進事業』
『認知症総合支援事業』



施設機能の地域展開

『「定期巡回・随
時対応型訪問介
護看護」等の在
宅サービス』



地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの推進

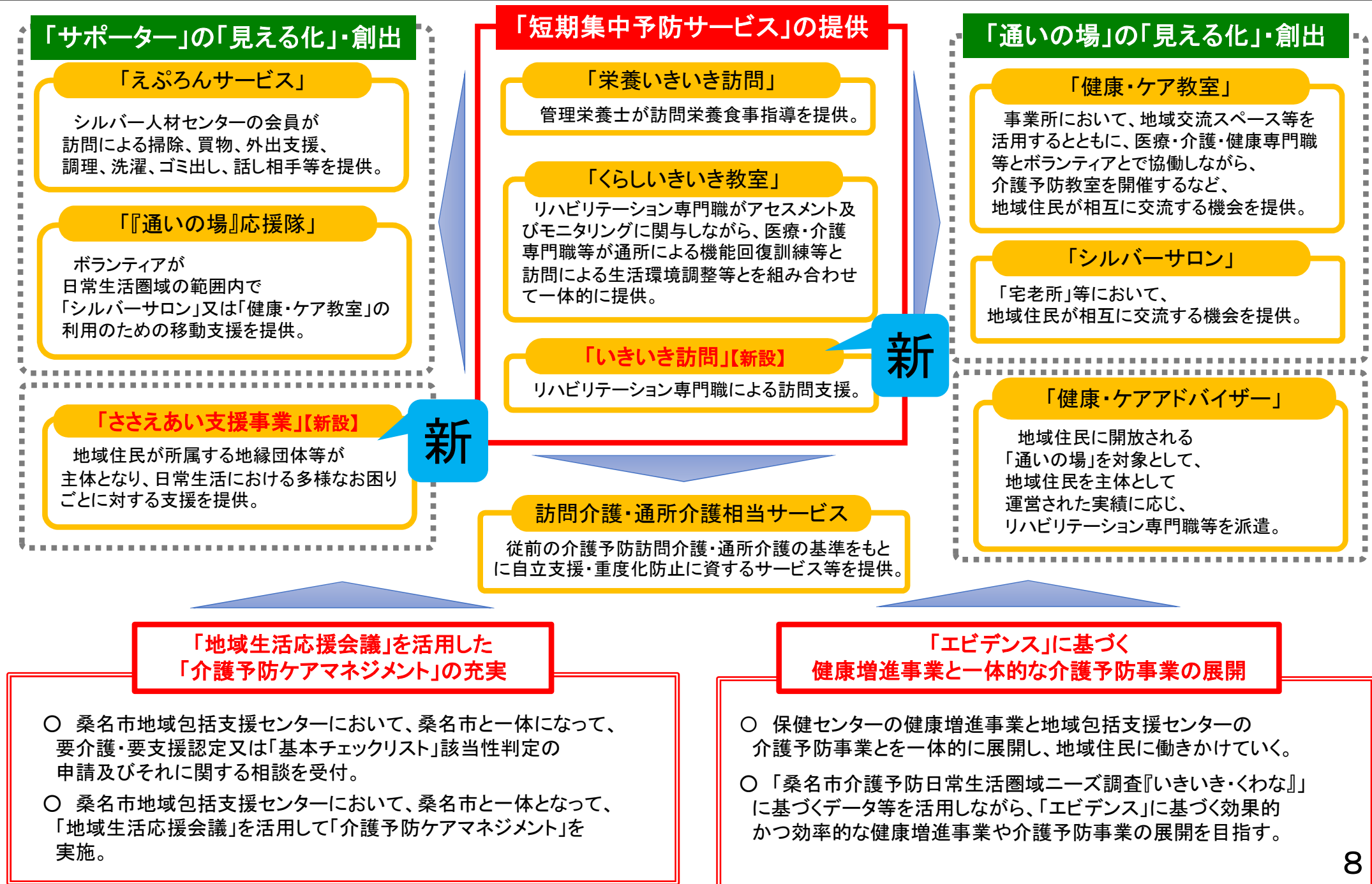
他人事

「我が事」

全員参加型

地域の課題を「丸ごと」受け止める仕組・場

桑名市の第7期介護保険事業計画における「介護予防・日常生活支援総合事業」の全体像



「地域生活応援会議」(平成29年6月21日)の様様



モデル事業を開始するにあたって①

高齢者の低栄養防止・重症化予防等の推進

平成28年度要望額 10.7億円

経済財政運営と改革の基本方針2015(平成27年6月30日閣議決定)

(インセンティブ改革)

民間事業者の参画も得つつ**高齢者のフレイル対策を推進する。**

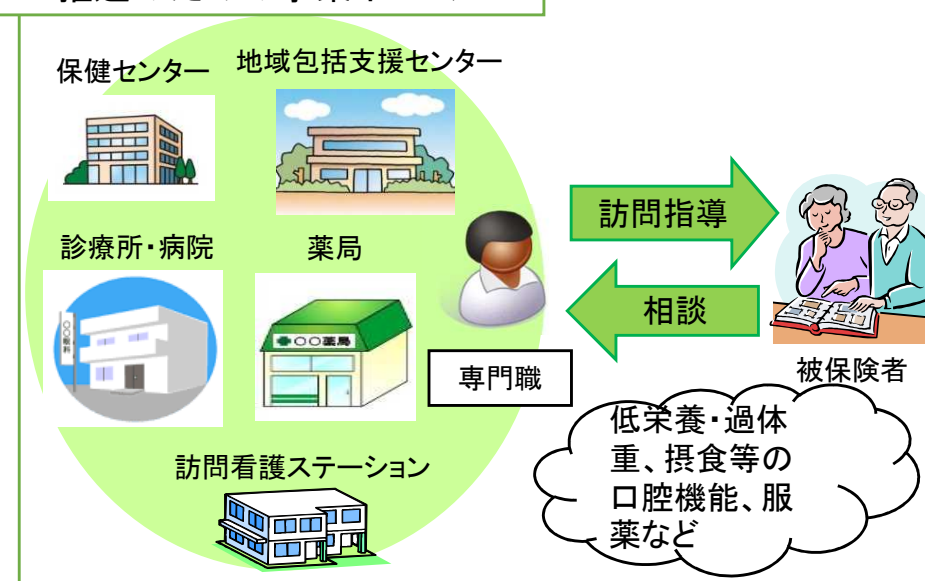
(公的サービスの産業化)

民間事業者も活用した保険者によるデータヘルスの取組について、中小企業も含めた企業による健康経営の取組との更なる連携を図り、健康増進、重症化予防を含めた疾病予防、重複・頻回受診対策、後発医薬品の使用促進等に係る好事例を強力に全国に展開する。

概要

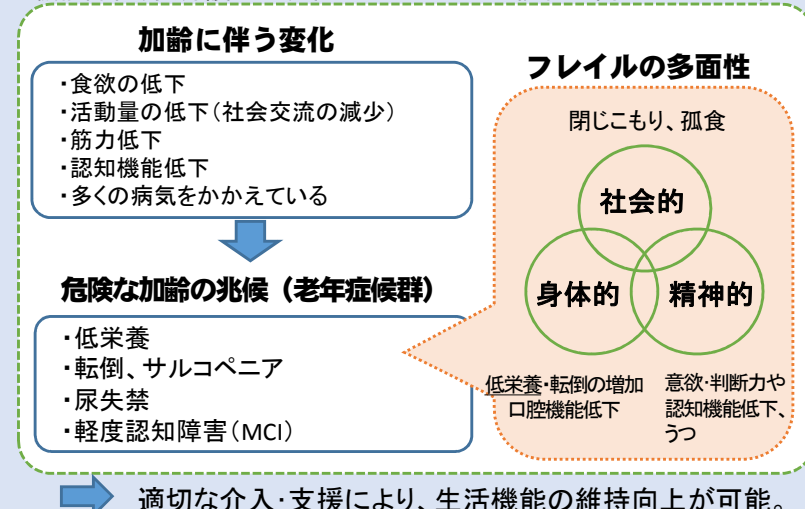
- 低栄養、筋量低下等による心身機能の低下の予防、生活習慣病等の重症化予防のため、高齢者の特性を踏まえた保健指導等を実施。
- 後期高齢者医療広域連合において、地域の実情に応じて、地域包括支援センター、保健センター、訪問看護ステーション、薬局等を活用し、課題に応じた専門職(管理栄養士、歯科衛生士、薬剤師、保健師等)が、対応の必要性が高い後期高齢者に対して相談や訪問指導等を実施。
〈例〉 ・低栄養、過体重に対する栄養相談・指導 ・摂食等の口腔機能低下に関する相談・指導
・複数受診等により服用する薬が多い場合における服薬相談・指導 等

推進のための事業イメージ



(参考)高齢者の特性(例:虚弱(フレイル))

加齢とともに、心身の活力(例えば筋力や認知機能等)が低下し、生活機能障害、要介護状態、そして死亡などの危険性が高くなった状態。



経緯

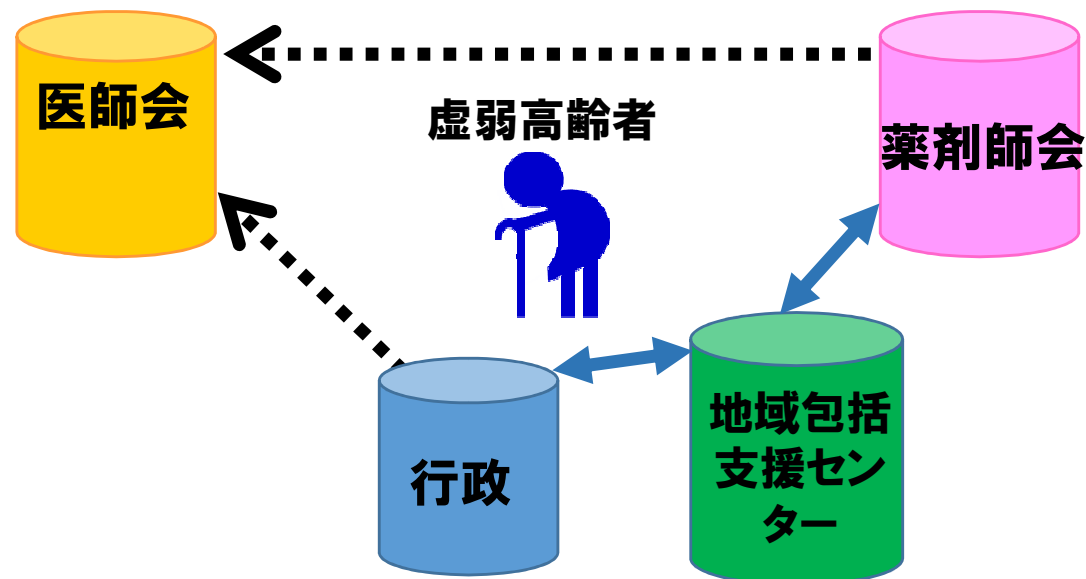
- 高齢者は、多剤投与や副作用の発生、服薬管理能力の低下等により、適正な薬物療法の実施が困難となり、重症化する症例が多く見られる。
- 適切な薬物療法の実施には、窓口での投薬業務に加え、自宅などの服薬環境の把握が有用と考えられ、訪問による服薬指導を実施し、高齢者の重症化予防に努めることに効果があると考えられる。

目 的

- ① 他科受診や多剤併用による重複投与の防止や副作用の早期発見。
- ② 服薬環境を把握し、服薬コンプライアンスの向上を図り、飲み残しを削減する。
- ③ 転倒リスクの高い高齢者に対して、転倒リスクを高める薬剤の変更・中止に関する情報提供を医師に行う。

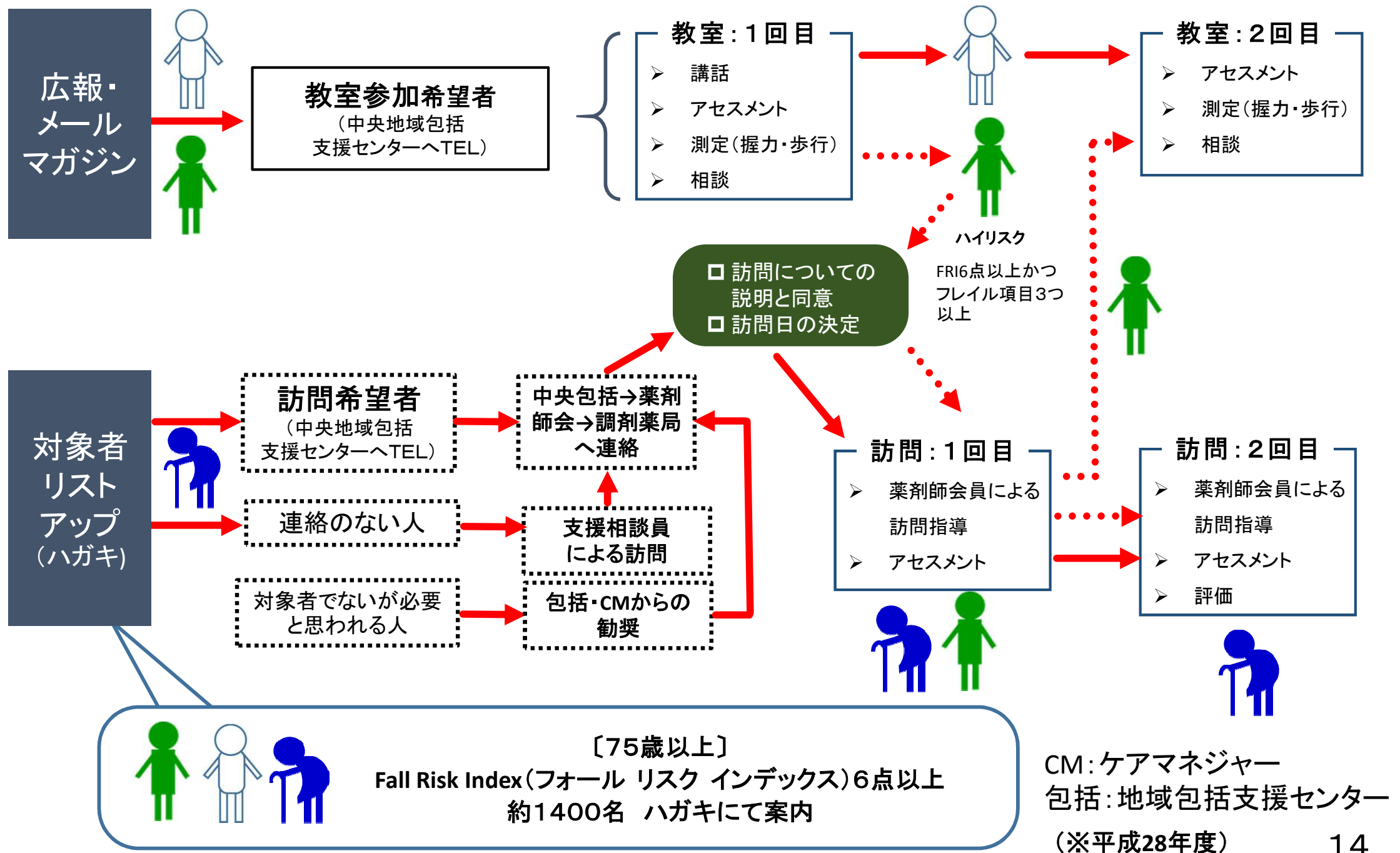
モデル事業の実施体制

- 事業を実施するに当たり、内容及び予算等を桑名地区薬剤師会と調整。
- 桑名地区薬剤師会と委託契約を締結。
- 桑名医師会には、事業開始前に説明に行き、了承を得た。
- 事業開始前、実施中においても調整のための打ち合わせを開催。
- 事業周知には、地域包括支援センター等の協力を得た。



「医・薬・行政・介護」
の協力体制！！

桑名市健康お薬訪問事業の流れ



対象者の抽出について

2つの条件を満たす人にハガキを送付

- ① 後期高齢者医療制度の被保険者
- ② 平成27年度の日常生活圏域ニーズ調査で、転倒のリスク該当者

介護保険事業計画の為の調査

○転倒のリスク該当者とは・・・

以下の5項目で、6点以上を転倒のリスク該当者としています

ニーズ調査	はい	いいえ
この1年間に転んだことがありますか	5点	0点
背中が丸くなってきましたか	2点	0点
以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	2点	0点
杖を使っていますか	2点	0点
現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか	「5種類以上」: 2点	

健康お薬訪問相談事業①



〔75歳以上〕
フォール リスク インデックス6点以上
約1400名 ハガキにて案内

(目標値としては200人を想定していた)

対象者
リスト
アップ
(ハガキ)

訪問希望者

(中央地域包括
支援センターへTEL)

中央包括
→
薬剤師会

連絡のない人

支援相談員
による訪問

服薬指導が
必要と思われる人

包括・CM
からの勧奨

参加無料

健康お薬訪問相談 事業のご案内

高齢者の転倒リスク（危険）の原因の一つに薬の副作用が影響を及ぼすとも言われています。今回、国の補助金を活用し、薬剤師がお宅を訪問し、服薬状況によっては、飲み合わせや飲み残しなどの対策を助言する「健康お薬訪問相談事業」を行います。ぜひお申込みください。

訪問による相談をご希望の方は
桑名市中央地域包括支援センタ
ーへお申込みください。



※このお知らせは、H27年ニーズ調査のお答えいただいた方のうち、75歳以上で転倒リスクの高い方に送付しています。

お薬に関する教室と薬・栄養・お口の相談会も開催します。詳しくは「広報くわな」をご覧ください。

連絡先 24-5104 (中央地域包括支援センター)

主催者
桑名市中央地域包括支援センター
桑名地区薬剤師会

健康お薬訪問相談事業②



健康お薬相談教室のご案内

薬剤師がお薬との上手な付き合い方に関するお話をします。服薬状況によっては、飲み合わせや飲み残しなどの対策をアドバイスする個別の相談も行います。他にも簡単な身体測定や管理栄養士、歯科衛生士による相談をお受けします。ぜひお申込みください。

参加ご希望の方は
桑名市中央地域包括支援センターへ
お申込みください。



場所	1回目	2回目
多度すこやかセンター	平成28年6月30日	平成28年9月15日
長島ふれあい学習館	平成28年7月21日	平成28年10月27日
大山田公民館	平成28年8月18日	平成28年11月22日
桑名福祉センター（額田）	平成28年9月8日	平成28年12月8日
城南公民館	平成28年10月13日	平成29年1月19日
中央保健センター	平成28年11月17日	平成29年2月21日

時 間 午後2時～4時
対 象 市内在住の75歳以上の方
内 容 薬剤師による講話
身長・体重測定、歩行速度測定、握力測定
薬剤師・管理栄養士・歯科衛生士による個別相談会
参 加 費 無料（同じ場所で2回実施します。）
持 ち 物 お薬手帳（お持ちの方のみ）
申し込み 電話で中央地域包括支援センター（24-5104）へ
申込期限 開催日の前日まで
※動きやすい服装でお越しください。

お問い合わせは中央地域包括支援センターへ
TEL 24-5104 FAX 27-3273



<案内チラシ>

無料 健康お薬訪問相談

薬剤師がご自宅を訪問致します！ 75歳以上

薬剤師がご自宅に訪問して
お薬のお悩みをお聞きしたり、
飲み合わせを確認します

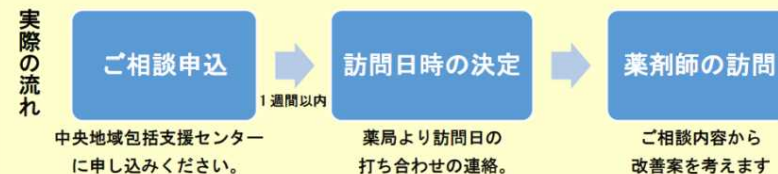


お薬の整理の仕方や
飲み忘れ防止のほか、
健康アドバイスも行います



お薬についてお困りなことがありましたら、ご連絡ください。

※本事業は桑名市にお住いの75歳以上の方を対象としています。
※すでに薬剤師が訪問している場合は対象外となります。

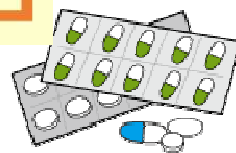


連絡先 24-5104（中央地域包括支援センター）



主催者
桑名市中央地域包括支援センター
桑名地区薬剤師会

※桑名市健康お薬訪問相談事業として、国のモデル事業で行っています。



今後の効果・課題（行政から）

- 目的としていた重複投与、飲み残しなどの軽減に効果があった。
- 対象者を誰にするか
 - 服薬が因子による転倒リスクに着目したが、多剤併用との因果関係を立証することは難しかった。
 - 薬学的な観点から多剤併用による有害事象の軽減や高齢者に対する薬物治療の適正化等に着目する。また、KDBシステム等の活用を検討。
- 対象者をどう募るか
 - ハガキ、チラシ、広報誌、メールマガジン等で周知したが、利用者数は低調であった。
 - 複数の媒体を引き続き活用しつつ、「通いの場」、「サロン」での説明等を実施する。



桑名市健康お薬訪問相談事業(H29年度)

事業目的・背景

高齢化に伴い、高齢者に対する適正な薬物治療の提供が必要となってきた。
特に、5種類以上の薬剤を服用することにより、有害事象が起こりやすくなる。

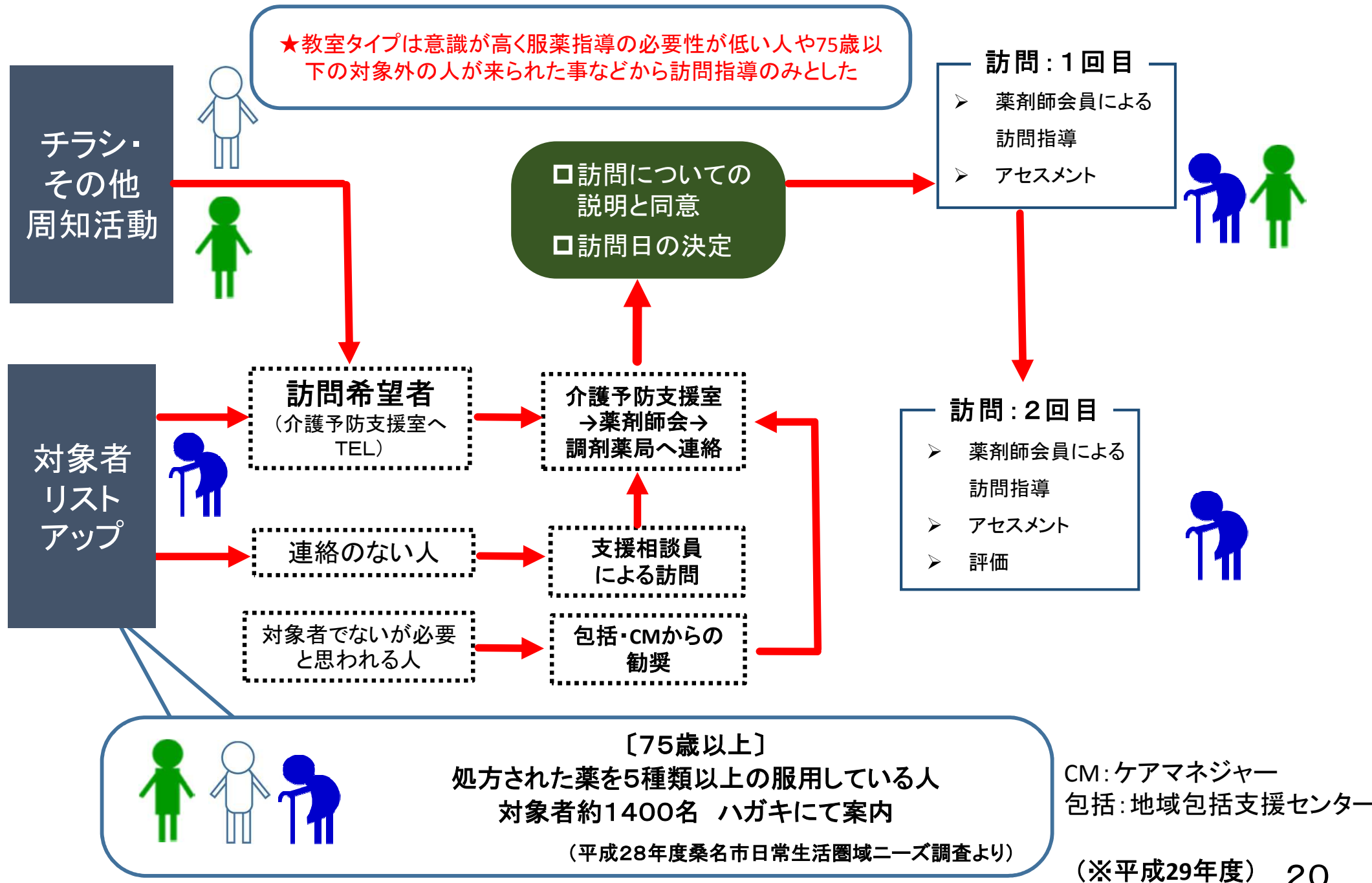
そのため、薬学的な視点から薬物による有害事象の軽減と高齢者に対する薬物治療の適正化に対する取り組みを桑名地区薬剤師会に委託して行う。

対象者の抽出について(H29年度)

2つの条件を満たす人にハガキを送付

- ① 後期高齢者医療制度の被保険者
- ② 平成28年度の日常生活圏域ニーズ調査で、服薬数が5種類以上

桑名市健康お薬訪問事業の流れ(H29年度)



周知活動について(H29年度)

桑名市お薬訪問相談事業

お薬訪問相談事業とは・・・

フレイル（虚弱）傾向にある後期高齢者を対象として、多剤併用や重複投与、飲み残し等の服薬状況を薬剤師が自宅に訪問し、服薬環境の改善に取り組む事業です。この事業は昨年度も実施し、皆様のご協力もあって国から好事例として採り上げられました。

※昨年度の取り組みは、裏面をご覧ください。

今年度も皆様のご協力が必要です！

○75歳以上の方で、
5種類以上薬を服用している

① 服薬等に関して問題を抱えている方

② 服薬等に関して相談したいことがある方

※「居宅療養管理指導を受けている方」と「生活保護受給者」は対象外です。

上記のような方にお心当たりがありましたら、介護予防支援室までご連絡ください。
よろしくお願いします。



桑名市
イメージキャラクター
「ゆめはまちゃん」

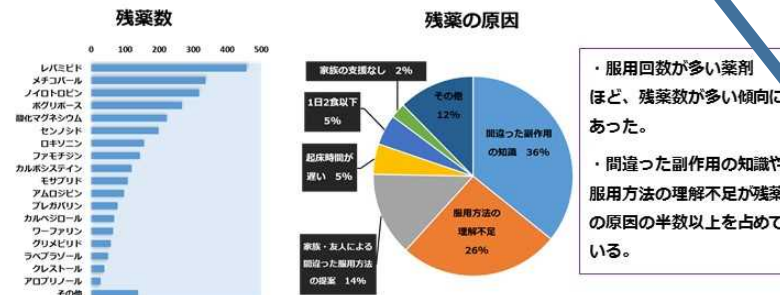
お問い合わせは、介護予防支援室まで
TEL: 24-5104 FAX: 27-3273

平成28年度の取り組み

訪問時の相談内容・服薬に関する問題点



残薬状況と原因



取り組みの
メリットを
わかりやす
く見せ、よ
り活用して
いただくこ
とをおすす
めした。

服薬状況・処方薬剤数の推移



○周知活動の1つとして「ケアマネジャー交流会」において、事業の説明を行い、協力等を呼びかけた。

健康お薬訪問相談事業(H29年度)



参加無料

お薬訪問相談事業のご案内

今回、国の補助金を活用し、薬剤師がお宅を訪問し、服薬状況によっては、飲み合わせや飲み残しなどの対策を助言する「お薬訪問相談事業」を行います。
お薬に関する疑問等もお気軽にご相談頂けます。
参加無料ですので、ぜひお申込みください。

※昨年度も訪問事業を行っております。

訪問による相談をご希望の方は介護予防支援室へお申込みください。



※このお知らせは、平成28年度ニーズ調査にお答えいただいた方のうち、75歳以上で5種類以上服薬されている方に送付しています。

連絡先 24-5104 (介護予防支援室)

主催者
桑名市介護予防支援室
桑名地区薬剤師会

<はがき>

無料 健康お薬訪問相談

薬剤師がご自宅を訪問致します！

75歳以上

薬剤師がご自宅に訪問してお薬のお悩みをお聞きしたり、飲み合わせを確認します。



お薬の整理の仕方 や 飲み忘れ防止 のほか、健康アドバイスも行います。



「お薬」のことでご相談がありましたら、ご連絡ください。

※本事業は桑名市にお住まいの75歳以上の方を対象としています。
※すでに薬剤師が訪問している場合は対象外となります。



連絡先 24-5104 (介護予防支援室)



<主催者>
桑名市役所 介護予防支援室
桑名地区薬剤師会

※桑名市介護予防支援室が主催として、国から補助金を受けています。



<案内チラシ>

事業を行った効果・課題（行政から）

- 対象数は少なくとも事業の効果・メリットが分かりやすいことに気付いた。
- 地域包括支援センター・ケアマネージャーの受け入れは良かったことから薬剤師と介護関係者との連携によって事業効果は向上すると思われる。
- 対象者の年齢枠が広がるとより効果が上がると思われる。
- 対象者の抽出にKDBシステムを活用することで支援の精度が向上すると思われる。
- 薬剤師の訪問指導が居宅療養管理指導とかぶる。
- 事業の継続を検討したが、「働き方改革」と「予算」が壁になる。



- 介護保険の枠で事業展開の可能性はないのか。
ex: 総合事業の短期集中型サービス等の活用
ex: ケアマネジメント医療介護連携加算等の活用
- 医療保険で加算を創設するなど、既存の制度を活用し積極的に参加されるような仕組みを創設することで継続性を考えられないか。
- 顔の見える多職種連携、対象者・関係者に丁寧な説明が必要。

今、考えずにいつ考える？ 「地域包括ケアシステム」

HPにて情報発信中！



511-8601 三重県桑名市中央町2丁目37番地
桑名市役所 介護高齢課 介護予防支援室
Tel:0594-24-5104 fax:0594-24-3133
kaigoyobom@city.kuwana.lg.jp